

研究課題名	Enterobacter 菌血症におけるタソバクタムピペラシリン耐性リスク因子に関する検討
研究の意義・目的	エンテロバクター属細菌は染色体上に AmpC 型 $\beta$ ラクタマーゼ産生遺伝子を有しており、抗菌薬の使用などにより AmpC 型 $\beta$ ラクタマーゼ過剰産生菌となり、院内感染における耐性菌として検出頻度が上昇しています。今回、エンテロバクター菌血症における AmpC 型 $\beta$ ラクタマーゼの陽性群と陰性群の背景因子を比較して、AmpC 型 $\beta$ ラクタマーゼ過剰産生菌のリスク因子を同定することを目的として本研究を予定しています。本研究結果により、エンテロバクター属細菌による菌血症に対する詳細な治療戦略を整備することが可能になると考えられます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2021 年 12 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2011 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日に大阪市立大学医学部附属病院で、血液培養検査よりエンテロバクター属細菌が培養された患者さまが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療録から個人情報を含めずに各情報を抽出します。 具体的には年齢、性別、診療科、基礎疾患、検出前に使用されていた抗菌薬の種類、血液検査データ、細菌培養検査データです。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院感染症内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院感染症内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学講座 教授 掛屋 弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 掛屋 弘 住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3784 FAX 06-6646-6056 E-mail <a href="mailto:kakeya@med.osaka-cu.ac.jp">kakeya@med.osaka-cu.ac.jp</a>